



平成 26 年 10 月 31 日
株式会社 ト ー カ イ
(東証一部:9729)

連結売上高は6期連続増収、過去最高を更新

ヘルスケア関連事業が順調に推移 当初予想を上回る

トーカイは、平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績が売上高 476 億 82 百万円（前年同期比 1.2%増）、営業利益 32 億 43 百万円（同比 1.3%減）、経常利益 33 億 82 百万円（同比 1.2%減）、四半期純利益 20 億 89 百万円（同比 2.2%減）になったと発表した。

当社グループの中核を担うヘルスケア関連事業が順調に推移し、「健康生活サービス」及び「調剤サービス」において増収増益を達成、連結売上高は 6 期連続過去最高を更新した。

「健康生活サービス」では、医療機関からのアウトソーシングを請け負う病院関連事業において、主力であるレンタル商品の拡販が好調に進んだことに加え、介護用品のレンタルを行うシルバー事業においても、営業所 1 カ所の新規開設や、地域密着型のサービスを推進したことによりレンタル売上が伸長し、同セグメントは前年同期比増収となった。利益面では、シルバー事業における営業力強化のための人件費の増加や、クリーニング設備製造事業の減収に伴う利益減を、病院関連事業及びシルバー事業の増収に伴う利益増により吸収し、同セグメントは前年同期比増益となった。

「調剤サービス」では、当期 4 店舗の新設で 114 店舗の事業展開となり、新規出店効果や処方せん単価の上昇によって、前年同期比増収となった。利益面では、薬価改定や消費税率引き上げによる影響があったものの、増収に伴う利益増及び当セグメントに属する連結対象子会社が、当期より 1 社増加したことにより、前年同期比増益となった。

「環境サービス」では、前年同期において、太陽光事業で大口の販売があったことなどから、前年同期比で減収減益となった。

これらにより連結売上高は 6 期連続の増収を確保し、過去最高額を更新。営業利益、経常利益、四半期純利益については前年同期比減益となったものの、当初予想を上回る結果となった。

当期末の業績予想については、当初予想を据え置き、売上高 993 億 28 百万円（前年同期比 4.4%増）、経常利益 75 億 52 百万円（同比 4.3%増）、当期純利益 46 億 11 百万円（同比 29.6%増）を予想している。

平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間決算発表（参考資料）

連結決算の概況

1. 営業成績の推移（実績及び予想）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
【実績】				
平成 25 年 3 月期第 2 四半期	42,746	2,993	3,117	1,628
平成 26 年 3 月期第 2 四半期	47,098	3,287	3,424	2,136
平成 27 年 3 月期第 2 四半期(当期)	47,682	3,243	3,382	2,089
【通期業績予想】				
平成 27 年 3 月期	99,328	7,295	7,552	4,611

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 設備投資の状況（実績及び計画）

（1）平成 27 年 3 月期第 2 四半期（当第 2 四半期実績）

設備投資実施額は、15 億 9 百万円（前年同期比 2 億 1 百万円増 15.4%増）。

主なものは、トーカイでのレンタル資材及びリネン工場設備更新等。

減価償却実施額は、15 億 4 百万円（前年同期比 20 百万円増 1.4%増）。

（2）平成 27 年 3 月期（今期計画）

設備投資計画額は、前年同期比 18 億 63 百万円増（75.7%増）の 43 億 25 百万円を予定。

主なものは、トーカイでの新工場建設、病院リネン工場の設備の増設・更新、レンタル資材及び新規営業所開設費用、たんぼぼ薬局の新規店舗開設費用、トーカイ（四国）での廃水処理設備の新設及び新規営業所開設費用等。

減価償却額は、前年同期比 1 億 94 百万円増（6.5%増）の 31 億 83 百万円を見込む。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社トーカイ

経営企画本部 経営企画部

E-mail : ir_info@tokai-corp.com

T E L : 058-263-5111（代表電話）

F A X : 058-263-5145